

ICT を活用した自己紹介プレゼンテーション

—情報科と英語科による教科横断型授業実践—

大阪府立東百舌鳥高等学校 稲川 孝司

大阪府立東百舌鳥高等学校 ロマス ジュニアファー

1. はじめに

オーラル・コミュニケーションの授業における自己紹介の授業は、多くの生徒が名前と出身地や趣味などを伝えるだけの Pattern Practice になってしまっていて、コミュニケーションにならないという問題点がある。そこで、ICT を活用してプレゼンテーションをおこなう教材を情報科と共同で開発して授業したところ、変化のある内容になり、生徒が積極的にコミュニケーションを図ろうとする授業ができた。

教科を横断する授業をおこなうに当たり、それぞれの教科の目標を確認し、相互の共通内容を洗い出し、授業の展開方法を打ち合わせた。また、教科横断型授業としてどのようにすれば互いに連携してより高い目標を達成できるか、担当者間で授業内容とスケジュールについて検討した。

日本の休日についての内容で授業を行った後、パワーポイント形式のワークシート上に各自の自己紹介文を書く。その中に自分の家の付近の地図と好きな休日に関する写真を数枚貼り付け、そこに英語で説明する文を追加することで、他人と違うシートが作成できる。説明する文章はNETとコミュニケーションして自分の言いたいことを表現し、正しい英語表現に修正してもらう。情報の授業では、パソコンを使ってワークシートに資料を作成し、地図を切り抜いてパワーポイントへ貼り付けたり、写真や絵をコピーして貼り付けて、発表用資料の作成方法や画像処理の技術、著作権について学ぶ。そして実際に全員の前でプロジェクターを使って英語で発表し、相互評価表を使って他人の評価をすると同時に聞く態度を身につける。授業で使った英語教材の内容は定期考査に出してその定着を図る。

ICTを活用した授業をおこなった結果、何をどのように伝えるかを考えて、自分の伝えたいことを表現でき、多くの生徒が積極的に取り組むことができた。比較的スムーズに発表した生徒は、手元のパソコンや資料を見ずに内容を正確に理解して話すことができおり、その後の授業での自信に結びつき、積極的に学習に参加できている。



2. 学習指導案

題材名	自己紹介プレゼンテーション
題材設定 の位置づけ	<p>◎ 教材観</p> <p>英語科と情報科の2つの教科を横断して、ICT を活用した英語の自己紹介プレゼンテーションをおこない、情報技術を活用する技能の習得を図り、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、自分の考えを適切に伝える能力を養う。また、限られた時間の中で英語科と情報科の授業の質をより高めることをねらいとする。</p> <p>◎ 生徒観</p> <p>全体的にまじめな生徒が多いが、英語が苦手な生徒が多く、自信がないため授業において一斉に発声するときの声が小さく、また二人の会話においても声が小さい。また、自己紹介のような授業においては自分の考えや伝えたいことを表現するのが苦手で、他人の文をそのまま使っている場面も見受けられる。</p> <p>◎ 指導観</p> <p>英語のプレゼンテーションで、全員の前で大きな声を出して、自分の意見を述べるのが、授業の緊張感を生み出し、そこから生徒の学習意欲の向上につなげたい。また、自分の発表と他人の発表の違いを見つけ、英語での挨拶の方法、表現方法、語句の使い方、文法などについて、多くのことに気づき、問題点を発見し、自分の未熟な技術を磨けるよう指導する。</p>

目標	<p>ICT を活用し、日常生活の身近な話題について英語でプレゼンテーションをおこなって、情報の伝え方や他人の考え方などを理解し、情報を伝えるための基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。また、国際化、情報化社会といわれる現代を生きる生徒に、生きたコミュニケーションを身につけさせ、情報と英語の教科で習得した知識・技能を相互に関連させながら解決する探求的な活動の充実を図る。</p>			
題材の 評価規準	関心・意欲・態度 ・自己紹介教材について関心を持ち、ICT を活用してパワーポイントのワークシートを意欲的に作成しようとしている。 ・自分自身のことについて積極的に英語で話そうとしている。	思考・判断 ・受け手を意識したワークシートの表現方法を工夫し、どうすればうまく思い通りに表現できるか判断できる。	技能・表現 ・パワーポイントで資料を作成し、自分で操作して発表できる。 ・自分自身のことについて積極的に英語で発表できる。	知識・理解 ・プレゼンテーションの方法について基本的な知識を身につけている。 ・英語での自己紹介学習を通じて、日本の休日の表現方法から日本と外国の文化の違いを理解している。
指導計画	第1時 Japanese Holidays 会話授業+ワークシート作成 (OC 2時間) 第2時 パワーポイントデータの作成 (情報 2時間) 第3時 発表リハーサル (情報 1時間)			

	第4時 自己紹介プレゼンテーション (情報・OC 1時間) (本時)	
	第5時 記述テスト (OC 0.5時間)	
本時の目標	ICT機器を活用して英語で自己紹介プレゼンテーションすることで、今まで学習してきた表現方法をまとめ、あいさつから始めて、話すことや発表すること、そして聞くことを通じて、基本的なコミュニケーション能力を身につける。	
授業内容	学習活動 (留意点)	評価
準備	動作チェック (コンピュータとプロジェクターが動くかチェック)	
導入	授業方法の説明とプリントの配布 (操作方法を確認し、次の演者を発表者横に座らせる)	パワーポイントの操作ができるか 声の大きさは十分か
展開	発表 (一人1分の持ち時間なので、ときばきと動くよう指示する)	挨拶ができているか 自己紹介ができているか 誕生日を序数で表しているか
まとめ	評価 (他人の発表をよく聞いてワークシートに評価点とコメントを記入)	地図を使って自分の住んでいる場所を表現できるか 家の近くの場所を表現できるか 好きな日本の休日について説明し、それに関連する写真を説明できるか 自分の意見を述べているか
	評価表の提出	他人の発表を聞いて、評価できているか